

山名	傾山	CL	鎗水	SL	高森
日程	26年10月25(土)~26(日)日	気象	晴れ	報告者	鎗水
参加者：中須賀、中里、金丸、大久保、下釜、高森、田中(静)、松田、鎗水				合計9名	
経 費					
収 入		支 出			
@ 14,700 × 9 名 = 132,300		河鹿荘	5,680 × 9 = 51,120 (1泊2食 弁当)		
			5,180 × 1 = 5,180 (トライパー)		
		レンタカー	13,000 × 2 日 = 26,000		
		運転手当	10,000 × 2 日 = 20,000		
		心付	4,000		
		高速料金	6,410 (諫早~益城 3,150 湯布院~諫早 3,260)		
		燃料代	15,568 (109.57ℓ 800km)		
		飲み物	2,800		
		合 計	131,078		
132,300 - 131,078 = 1222 オレンジ基金へ					
<p>行程・所要時間 (GPS, 写真記録による, 数値は丸めている)</p> <p>(10/25) 10:00西諫早駅~15:50日之影町大字見立「河鹿荘」</p> <p>(10/26) 計画 6:00河鹿荘~6:50黒仁田登山口~8:00九折越~9:30/10:00傾山~10:15水場合流 実績 5:50 ~7:00 ~8:00 ~10:00/10:15 ~11:20/11:50 (昼食)</p> <p>~11:45/12:15水場合流(昼食)~12:45三ツ尾~13:55観音滝~14:35/15:00九折登山口P ~13:20 ~13:45 ~15:45 ~16:30/17:00</p> <p>~17:20由布IC~19:50西諫早駅 ~19:00 ~21:00</p>					
<p>登山概要</p> <p>二日間とも晴れて爽やかなれど少し暑かった、また木々は枯葉色で全山紅葉の綺麗さはなかった。しかし登山のハードさは一級で、それだけに疲れも感動も充実感も大きかった。黒仁田林道では車底がこするためたびたび下車、その為登山口まで50→80分。しかし九折越には予定通り到着。ここからは傾山の威容が良く見える。傾山に向っての登山道は決して悪くないが、徐々に勾配がきつくなり、後傾直下は完全な岩登りである。傾山は後傾と指呼の間であるが弧状の絶壁岩の上を通るので緊張する。傾山頂からは祖母・傾山系が見渡せ、春に登った祖母山や天狗岩が対向に見える。傾山から水場コースの分岐に向っては湿った岩下りから始まる。先に進入禁止のロープがあり右に急勾配を下り始めたが、田中(静)さんが正規のルートを確認し道迷いから脱する事が出来た。しかしここで50分の吸。昼食後、水場コースに入ったがこれから先林道出会いまでは悪戦苦闘の連続であった。基本的には全山岩山であり、途中で岩肌がむき出しその上に落ち葉が降り積もっている為、不用意に足をおくと滑りそうになる。また岩場やガレ場を何度も登り下り、水場コースを抜けてからも急勾配を延々と下り、殆ど全員が足の踏ん張りがきかない状態であった。ようやく林道に出て観音滝を見る為「どうかい谷」に下るのを間違えて林道を途中まで行って引き返した為、更に30分を吸。「どうかい谷」に下るのは疲れ切った脚には過酷であったが、「観音滝」は見応えのあるものであった。九折登山口には予定より到着2時間遅れであった。</p>					
概 念 図		問 題 点・反 省 点			
次ページ		<p>1. オレンジに入会して最もハードな山(北アルプスなどと異なる意味で)であった。危険な岩登り下りや急登・急坂が凝縮され長時間継続する為、足腰の鍛錬と岩登りに慣れておく事が必要である。またセルフスキューの心得も必要。</p> <p>2. 疲れ切った身には、現在地を知って次の目標点までを予測する事が希望につながる。その意味でもGPSは有効であった。</p>			

